

(8) 言語・文化・観光専門セクション 「ロシア語通訳・翻訳専門家育成に関する連絡会・意見交換会」

日露経済協力を資する人材育成プラットフォーム（HaRP）

1. 日時 2月21日（金）14:00－17:00
 2. 会場 北海道大学学術交流会館 第4会議室
 3. テーマ 日露経済協力を資する日本語とロシア語の通訳・翻訳専門家育成及び産学官連携

	14:00-14:05	開会	
	14:05-14:10	挨拶	田畑 伸一郎(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 教授)
1	14:10-14:15	日露3大学ジョイント・リサーチ・プロジェクトに向けたオンラインワークショップとESDグローバル協働教育プログラムの試み	池田 恵子(北海道大学大学院教育学研究院 教授・国際交流委員会・委員長)
2	14:15-14:20	通訳実習における外出講義とビジター・セッションの役割	シャンキナ オリガ(サハリン国立総合大学付属言語学・歴史・東洋学大学 東洋語学科 准教授)
3	14:20-14:25	ビジネス人材育成のためのロシア語教育	新井 滋(東京外国語大学世界言語社会教育センター 特任教授)
4	14:25-14:30	ICT活用で切り拓くデジタルネイティブ世代のインターンシップ～企業活動の最前線に見出す人材育成とキャリア教育の可能性～	浅川 奈美(JVTA日本映像翻訳アカデミー(株)グローバル・コミュニケーション・サポート シニア・マネージャー／経営企画)
5	14:30-14:35	サハ共和国における日本語通訳者育成の特徴とその問題点	ステパノバ ジナイダ(北東連邦大学外国文献学地域研究学部東洋言語地域研究学科 教師)
6	14:35-14:40	地域コミュニティを基盤とする日露協働学習をめざして	金子 百合子(神戸市外国語大学外国語学部ロシア学科 准教授)
7	14:40-14:45	創価大学の対ロ学術文化交流	江口 満(創価大学文学部人間学科 教授)
8	14:45-14:50	モスクワ国立大学の心理学教育における専門通訳技能の取得	ラエフスキー アレクサンドル(モスクワ国立大学心理学部 准教授)
9	14:40-14:55	大阪大学のロシア語教育の実状	藤原 克美(大阪大学言語文化研究科 教授)
10	14:55-15:00	札幌大学のロシア語教育について	岩本 和久(札幌大学地域共創学群 教授)
11	15:00-15:05	ロシア語・日本語教育と日露文化交流の取り組み	高橋 匠美(T.T.T. ABROAD ACADEMY 代表)
	15:05-15:55	質疑応答、意見交換	
	15:55-16:00	閉会、記念撮影	
	16:00-17:00	自由交流	

日露3大学ジョイント・リサーチ・プロジェクトに向けたオンラインワークショップ

Workshop towards the future joint research project among three universities

【概 要】



日 時：2019 年 11 月 12 日（火曜日）午後 2 時から 5 時

- 札幌: 14: 00-16: 00
- ユジノサハリンスク: 16: 00-18: 00
- エカテリンブルグ: 10: 00-12: 00

場 所：北海道大学教育学研究院教育学部研究棟 3 階 大会議室

テーマ：日露比較からみる現在の位相：地域教育、教育心理学、
教育学研究を通じて

The theme of the online seminar: "Features of regional education, scientific psychological and pedagogical research in modern conditions" (on the example of Japan and Russia).

参加大学:

- 1) 北海道大学教育学研究院（札幌、日本）
- 2) サハリン国立大学教育心理学研究所（ユジノサハリンスク、ロシア）
- 3) ウラル国立大学心理学研究所（エカテリンブルグ、ロシア）.



進 行：

- 1) 池田恵子（北大教育学研究院教授・国際交流委員長 Professor, Doctor）.
- 2) アファナセンコワ・エレナ・レオニドブナ 准教授（心理学 サハリン国立大学）
afanasenkova Elena Leonidovna, (associate Professor of KAF. psychology IPIP, K. PSH. n.)
- 3) バシアギーナ・ナターリヤ・ニコラエヴナ教授（教育心理学学科長、ウラル国立教育大学）Vasyagina N. N., （head. Department of psychology of education of PI Ural state pedagogical University, Professor, D. PSC. n.）

通訳 Language support:

- 1) 北大（日本語→ロシア語）：
ゲオルギー・ブンチロフ先生（助教）、アンナ・サヴィヌフ先生（非常勤講師）
- 2) サハリン国立大（ロシア語→日本語）
- 3) ウラル国立教育大（ロシア語→英語）

【話題提供（全体 1 時間 15 分程度）】

I. 北大（札幌、日本）

1. 宮崎隆志教授・研究院長 Professor Miyazaki, Dean of the Faculty:

北海道教育コンソーシアムについて"review of the Hokkaido educational consortium plan" (5 min).

2. 大野栄三教授 Professor Ohno

北海道における高等学校の遠隔教育

“Distance education among upper secondary schools in Hokkaido: Background of my research project.” (10 min).

3. 崎田嘉寛准教授 Associate Professor Yoshihiro Sakita:

小学生の体力・運動能力向上のための運動プログラム Exercise program to improve physical and athletic ability of elementary school students (10 min).

II. サハリン国立大学（ユジノサハリンスク、ロシア）

1. モイセーエフ・ウラジミール副学部長による冒頭ご挨拶 Opening remarks: Moiseev Vladimir Vasilevich, Vice-rector for research and project work of Sakhsu, candidate of technical Sciences, associate Professor (3-5 min.).

2. ヴィクター・コルソノフ教授による北大とサハリン国立大学との間の相互協力関係の展望 Information on cooperation and prospects of interaction between Hokkaido University and Sakhsu: Viktor Korsunov, candidate of pedagogical Sciences, associate Professor, corresponding member of the International Academy of Sciences of higher education (5 min.).

3. エレノア・レオニドブナ教授による「教育心理学研究の方向性について―教育機関に携わる労働者の自己実現の問題を中心に―」

Afanasenkova E. L., associate Professor, candidate of psychological Sciences: Directions of psychological pedagogical research At the Institute of psychology and pedagogy of Sakhalin state University, in particular the problems of self-realization of pedagogical workers of the education system (Russia, Sakhalin region-Japan, Hokkaido) (5 min.).

4. ブロンキナ・スベトラナ・アレクサンドラナ、身体文化・スポーツ学科長によるユジノサハリンスクにおける 10 歳から 11 歳の子どもの心理的および身体的特徴、中等教育機関における長所を伸ばす身体トレーニングに関する研究について Pronkina Svetlana Aleksandrovna, head. Department of physical culture and sports, candidate of pedagogical Sciences: "Research of psychophysical features of development of children of 10-11 years of Yuzhno-Sakhalinsk and development of recommendations for success of their training in secondary school" (5 min.).

5. リュドゥミラ・ルミヤンツバ教授による子どもの自立および活動にあたる発達および教育方法論の影響に関する研究について Lyudmila Rumyantseva, candidate of pedagogical Sciences, associate Professor: "Study of the influence of developmental methods and teaching methods on the independence and activity of younger students" (5 min.).

III. ウラル国立教育大学（エカテリンブルグ、ロシア）Ural state pedagogical University (Russia, Yekaterinburg):

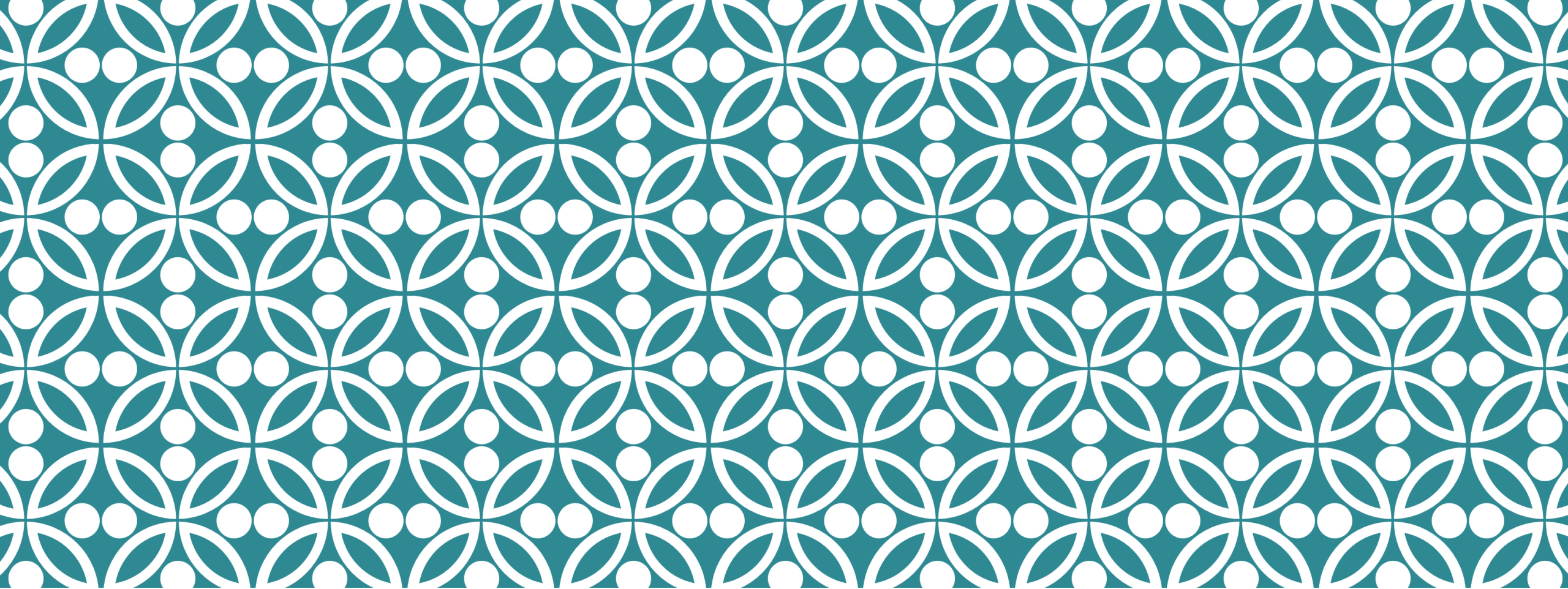
1. ナターリヤ・ニコラエヴナ・ヴァシャギナ教授による「スヴェルドロフスク州地域の教育システムにみる心理学的サポート活動の方向性について」
Vasyagina Natalia Nikolaevna, Professor, doctor of psychological Sciences: "About actual directions of Activity of Psychological service in education system of Sverdlovsk region" (15 min.).

2. カザエヴァ・エヴジェニア・アナトリエヴナ教授による「特別支援教育を必要とする子どものチューター養成に関する地域実践報告について」
Kazaeva Evgenia Anatolievna, Professor, doctor of pedagogical Sciences: "*Regional experience in tutors` training to work with children with special educational needs*" (10 min.).

3. ローマン・ポロゾフ准教授による「国際文化と教育プロジェクトに関する検討」
Roman Porozov, Rector's assistant, Ural State Pedagogical University, Associate Professor, "Review of international cultural and educational projects"



【ラウンドテーブル「日本とロシアにおける相互文化補完的な（異文化）教育研究の可能性について」】（15 分の討論、各大学まとめ 5 分ずつ）Round table discussion: "Opportunities for intercultural education and research between Japan and Russia "(30 m. - discussion, 15 m. - summing up: 5 m. summary for each University).



通訳実習における外出講義と ビジター・セッションの役割

サハリン国立総合大学
シャシキナ・オリガ

サハリン国立総合大学





日本語専門分野

- 東洋学

- 教育学

専攻講座



- 通訳・翻訳の一般理論
- ビジネス翻訳・通訳
- 文学翻訳
- 文体学



到達目標

専門分野以外に
通訳者・翻訳者の役割を果たす
人材育成

ПРАКТИКА



実習(ПРАКТИКА)のプラン

東洋学科：

学習実習	4週間	(4	セメスター)
企業実習	4週間	(6	セメスター)
専攻実習	4週間	(8	セメスター)



実習(ПРАКТИКА)のプラン

教育学科：

学習実習	4週間	(4	セメスター)
企業実習	4週間	(6	セメスター)
企業実習	4週間	(7	セメスター)
企業実習	4週間	(9	セメスター)
専攻実習	4週間	(10	セメスター)



ПРАКТИКА

外出講義協力機関

- サハリン州立郷土博物館
- チェーホフ記念文学館
- 州立美術館
- ロシア我が歴史博物館

等

外出講義実施プラン

1. 発表の準備

- テーマの選択
- 情報収集
- テキスト作成
- 単語リスト作成

外出講義実施プラン

2. 当日の実施：

講義する学生	通訳者	学習グループ
準備された 講義の発表 (日本語)	単語リスト に基づく通訳 (ロシア語)	講義の内容に関 する問題リスト 記入
	連続通訳	単語リストの 内容確認

外出講義

3. フィードバック :

評価表

Бланк оценки качества перевода

Тема:

Дата:

Переводчик:

Поставьте оценку в баллах от 1 (самый низкий результат) до 10 (самый высокий результат) согласно критериям таблицы

Критерии оценки баллы

1. Точность передачи информации
2. Плавность изложения
3. Скорость реакции
4. Грамматическая правильность
5. Фонетическая точность
6. Лексическая вариативность
7. Профессионализм поведения

学習円卓会議ビジターセッション

ビジター参加者：

- 日本国総領事館の館員
- 日本人留学生
- 日本人会メンバー
- 日本語以外専攻グループ
- 日本語第3外国語学習グループ

学習円卓会議ビジターセッション

テーマ（例）：

- 伝統的な家
- ソ連時代（昭和時代）の物
- 旅行
- 外来語
- 相手に伝えたい言葉

学習円卓会議ビジターセッション

1. 準備：

- ビジター参加者招待電話
- 資料作成（参加者リスト、名札等）
- 司会の練習
- 当日プレゼンの翻訳

学習円卓会議ビジターセッション

2. 当日の実施担当：

- 司会
- 連続通訳
- 質疑応答通訳

学習円卓会議ビジターセッション

3. フィードバック：

- 通訳評価
- お礼のメール・お礼の電話

学習円卓会議ビジターセッション



学習円卓会議ビジターセッション



学習円卓会議ビジターセッション

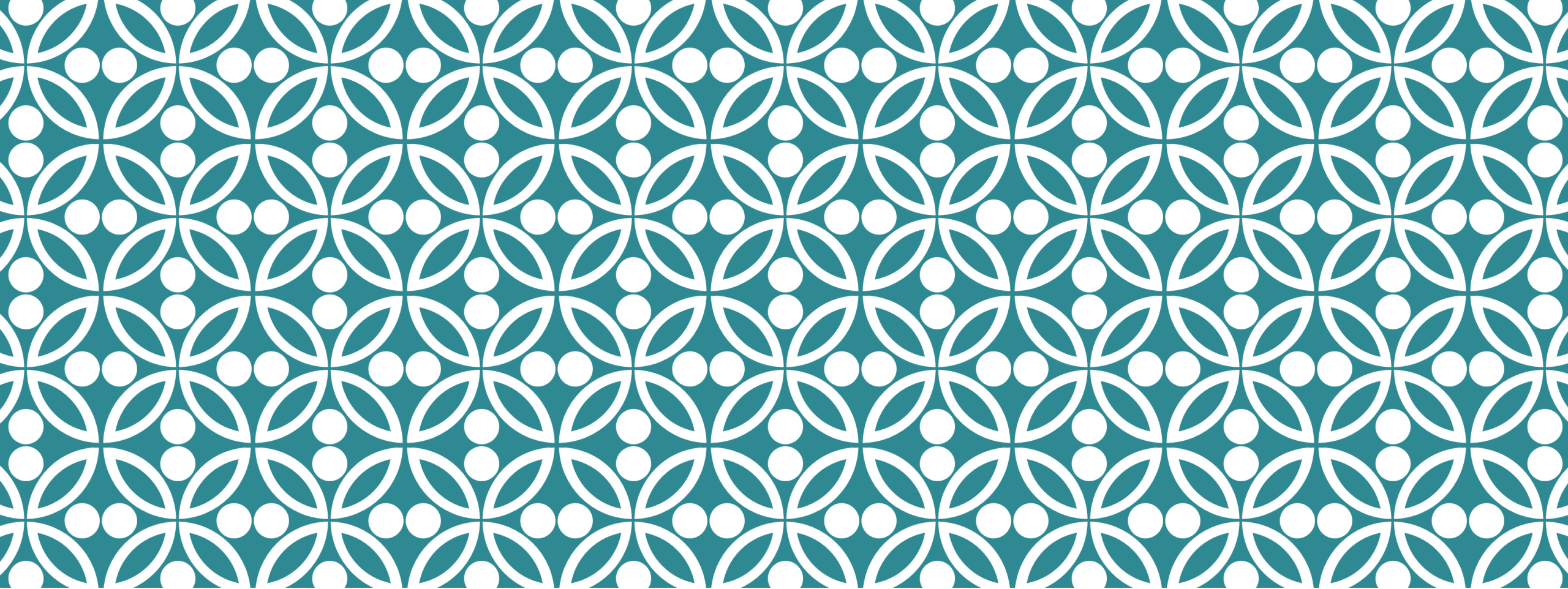


達成成果（CAN-DO）

- 外国語講義者の経験をもらう
- 連続通訳の基のスキルを身につける
- 通訳工チケットを身につける
- 通訳者・翻訳者の仕事の重要性を感じる

達成成果（CAN-DO）

- 講義者の経験をもらう
- 連続通訳の基のスキルを身につける
- プレゼン資料の翻訳のスキルを身につける
- 通訳エチケットの経験をもらう
- 通訳者・翻訳者の仕事の重要性を感じる
- **自分が伝える情報の責任感を持つ**



通訳実習における外出講義と ビジター・セッションの役割

サハリン国立総合大学
シャシキナ・オリガ



RUSSIA MOSCOW
ST. PETERSBURG
VLADIVOSTOK TOKYO

[2017年度 大学の世界展開力強化事業]採択事業

日露人的交流の飛躍的拡大に貢献するTUFJ日露ビジネス人材育成プログラム



東京外国語大学

ロシア語教育及び通訳・翻訳技術取得に関する 連絡会・意見交換会

2020年2月21日(金)

発表：新井 滋
東京外国語大学 特任教授

日露ビジネス人材になるための学び

外国語習得

ロシア語
TORFL
レベル2以上

英語
TOEIC
800点以上

	履修科目等	履修年次	要件
国際ロシア学 (必修)	地域言語A (ロシア語Ⅰ)	1年次	10単位修得
	地域言語A (ロシア語Ⅱ)	2年次	4単位修得
	地域基礎 1A(ロシア1)「地域基礎 2A(ロシア)」	1年次～2年次	4単位修得
	派遣先協定大学でのロシア語による授業履修	—	120時間以上
国際日本学 (必修)	世界教養科目「世界から日本を見る」(区分ウ)の日本語または英語による科目群(「世界の中の日本A」と「世界の中の日本B」)	第1年次～	指定科目一覧より4単位修得
	選択科目(国際社会学部)より「経済学A」「経済学B」または「経営学A」「経営学B」	国社 2年次秋～ 言文 3年次春～	指定科目一覧より4単位修得
ビジネス関連 新規開設科目 (選択必修)	日露ビジネス講義 (キャリアデザイン論3A)	1年次～	1単位修得
	日露タンデム学習 SS (キャリアデザイン論2)	2年次以降推奨	1単位修得
	国際日本学(露語)SS(地域言語A(ロシア語Ⅲ-6))	3年次～	1単位修得
	ロシア語医療通訳入門 (キャリアデザイン論2)	2年次以降推奨	2単位修得
	駐在員のロシア語 (地域言語A(ロシア語Ⅲ-8))	3年次～	1単位修得
インターン シップ (必修)	本学が提供するインターンシップ(派遣先および/または日本国内)	短期海外留学 (SV) 前/中/後 派遣留学 前/中/後	2回以上の参加 実施報告書の提出



完遂した
学生に
「修了証」
交付

実学教育強化 – 「ロシア語医療通訳入門」

授業の目的

- ・ 日本とロシアの基本的な医療事情を比較して把握し、通訳に活かす
- ・ 日本にいる外国人にとっての医療環境を知る
- ・ 基本的な医療用語をロシア語と日本語とで対比して覚える
- ・ 通訳理論や通訳技術の基礎について理解する



講義する山田紀子氏 (PJL代表)

2019年度 授業スケジュール

1. オリエンテーション(ガイダンス): 医療と文化
2. 医療通訳とは: 医療通訳の要件
3. 人体図、解剖と検査: ケーススタディ
4. 日本の医療事情・医療機関
5. 消化器科: ケーススタディ、通訳理論・通訳技術
6. 循環器科: ケーススタディ、通訳理論・通訳技術
7. 脳神経外科: ケーススタディ
8. 外国人に対する医療提供体制
9. ロシアの医療事情・医療機関
10. 日ロの医療交流
11. 総合復習1
12. 総合復習2
13. テスト
- 14-15. アクティブラーニング
(東京医科歯科大学病院見学他)

実学教育強化 – 「ロシア語医療通訳入門」(教材資料)

薬局にて その2		
	Русский	日本語
shc upper ai forearm 前腕 wrist 手首 3: hand 手	Это противосвёртывающее средство.	この薬は血流の流れをよくします。
	Этот препарат снижает давление.	この薬は血圧を下げます。
	Это антибактериальный препарат.	この薬は菌を抑制します。
	Это противовирусный препарат.	この薬はウィルスを抑制します。
	Это противопаразитарное средство.	この薬は寄生虫を抑制します。
thig kne s toe	Этот препарат от кашля и мокроты.	この薬は咳や痰を抑えます。
	Этот препарат для снижения уровня глюкозы в крови.	この薬は血糖を下げます。
	Это лекарство нормализует уровень холестерина и триглицеридов.	この薬はコレステロールや中性脂肪を正常化します。
	Это препарат для укрепления костей.	この薬は骨を強くします。
	Этот препарат снижает головокружение.	この薬はめまいを止めます。
	Этот препарат для стабилизации нервной системы.	この薬は精神を安定させます。
	Это средство для профилактики и лечения язвы.	この薬は潰瘍を予防したり治したりします。

head 頭
голова́

arm 腕
рука́

body 体
тёло

leg 脚
нога́

実学教育強化－「駐在員のロシア語」(ビジネスロシア語)

授業の概要 講師:新井 滋

ロシアに駐在員として派遣されたことを想定し、日々の実務をこなしていくために必要な基礎知識と対応するロシア語を解説

1. ビジネスを構成する各事項を日本語で説明
2. 対応するロシア語の単語、熟語、表現を解説
3. 作文、会話の演習

2019年度 授業スケジュール

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. ガイダンス 会社組織、駐在員の仕事とは | 8. マーケティング |
| 2. 価格設定他 | 9. 財務諸表の読み方 |
| 3. 売買契約書 | 10. 人事労務管理1(採用から解雇まで) |
| 4. ロジスティクス | 11. 人事労務管理2(人事考課) |
| 5. 顧客との日常的やりとり・商談 | 12. 仕事上のつきあい・接待 |
| 6. 営業会議・コントローラーの仕事 | 13. 筆記試験 |
| 7. 復習と小テスト | 14-15 アクティブラーニング (ビデオ教材の学習ほか) |



教材としての「ワーニャ伯父さん」

実学教育強化 – 「駐在員のロシア語」(教材資料)

ワーニャ伯父さん

ロシア語原文	ビジネスシーンで使える単語・表現
Серебряков (Е. Лёбедев). Я начинаю, господа. Господа! Я пригласил вас, чтобы сообщить вам, что к нам едет ревизор. Впрочем, шутки в сторону. Дело серьёзное. Я созвал вас, господа, чтобы попросить у вас помощи и совета. Все мы под богом ходим; я стар, болен и потому считаю своевременным регулировать свой имущественные отношения постольку, поскольку они касаются моей семьи.	・ я пригласил вас, чтобы... 会議の席で使える。 ・ впрочем, шутки в сторону. 「まあ、冗談はさておき」 ・ попросить у вас помощи и совета. 「貴方様からサポートとアドバイスをいただく」 ・ регулировать 調整して解決する ・ имущественные отношения 財産関係（譲渡・相続等に関し） имущество 所有物、資産、財産 ・ постольку, поскольку (接) .. であるので、である以上 постольку-поскольку (副) 中途半端に
Жить же в городе на те средства, которые мы получаем от этого имения, невозможно. Впрочем можно. Можно было бы продать лес, но эта мера экстраординарная, которой нельзя пользоваться ежегодно. Нужно изыскать такие меры, которые гарантировали бы нам постоянную, более или менее определённую цифру дохода. Я нашёл эту меру и имею честь предложить вам на ваше обсуждение. Наше имение даёт в основном около двух процентов. Я предлагаю продать его. Если вырученные деньги мы обратим в процентные бумаги, то будем получать от четырёх до пяти процентов, и я думаю, что будет даже некоторый излишек в несколько тысяч, который позволит нам купить небольшую дачу в Финляндии.	・ жить на средства ...の金で生計を立てる ・ экстраординарная мера 例外的措置 принять меры 措置を講じる (cf. предпринять шаг) ・ изыскать 文語的。(努力して) 見つける ・ меры, которые ~ определённую цифру дохода いわゆる fixed income (確定インカム) = 債券投資 инвестиции в облигации ・ дать сколько-то процентов 利回り доходность のことを言っている。投資総額に対する年間利益の比率のこと。 ・ выручить 代金・もうけを手にする вырученные деньги もうけたお金 cf. «выручка» = revenue = 収益 ・ процентные бумаги 有価証券 процент = interest = 利子、利金 有価証券は一般的には ценные бумаги



企業活動の最前線に見出す人材育成と
キャリア教育の可能性

ICT活用で切り拓く デジタルネイティブ世代のインターンシップ°

浅川奈美 シニアマネジャー／経営企画

日本映像翻訳アカデミー Japan Visualmedia Translation Academy

JVTA



About JVTA

1996年創立。東京本社の他現在はロサンゼルスとモスクワに海外拠点を持つ

映像翻訳・職業訓練スクール事業

日本で最も多くの映像翻訳者を輩出。国内外に修了生が6000人以上

翻訳事業・グローバル化支援事業

日⇄英・多言語の翻訳エージェント

協働するフリーランスの翻訳者は世界中に在住。年間1,000人以上

バリアフリー化支援事業・職業訓練スクール事業

視聴覚障がい者向け字幕・音声ガイド映像

二つ以上の言語の習得に人生を重ね、社会を豊かにしようと**願い、学び、行動**しようとする
すべての人を**本気で支援する**職業人／「言葉のプロ」

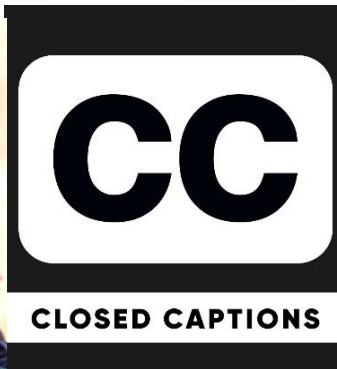
JVTAが取り組むCSR

言葉のプロ、キャリア教育のプロとして果たす持続可能な社会への取り組み



難民支援

国連主催の難民映画祭
(Will2Live)の字幕翻訳
やPRについて10年間継続
して全面的に支援。



映像の バリアフリー化

視聴覚障害者向け音声
ガイドとCCの普及支援。
ユニバーサルシアター
「シネマ・チュプキ」
NPO法人「メディア・アクセ
ス・サポートセンター」



日本コンテンツの 海外進出支援

特定非営利活動法人
VIPO
公益財団法人
フォーリン・プレスセンター



グローバル人材 の育成

GUSP
(Global Universities
Subtitling Project)
国内外の教育機関での
グローバル教育のカリキュラ
ムの開発・提供



訪日外国人への 語学サポート

語学ボランティア
訪日外国人向けワーク
ショップを開催し、日本
文化体験の場を創出

学校教育・グローバル人材育成プログラム 実績例 (2019年現在)

大学



青山学院大学
(総合文化政策学部)



アーバイン・
バレー・カレッジ
(カリフォルニア)



ウィーン大学
(オーストリア・
ウィーン)



ゲント大学
(ベルギー・ヘント)



ニューヨーク
大学
(ニューヨーク)



明星大学
(人文学部)



法政大学
(学務部教育支援課
グローバル教育センター)



ハインリッヒ・
ハイネ大学
(デュッセルドルフ)



ローハンブトン
大学
(ロンドン)



RUDN大学
(モスクワ)



ロンドン大学
(アジア・アフリカ研究学院)



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

東京外国語大学

映画祭



国連UNHCR協会
WILL2LIVE映画祭
(東京)



ショートショート
フィルムフェスティバル&アジア
(東京)



ニッポンコネクション
(フランクフルト)



Japan Film Festival
of San Francisco
(サンフランシスコ)

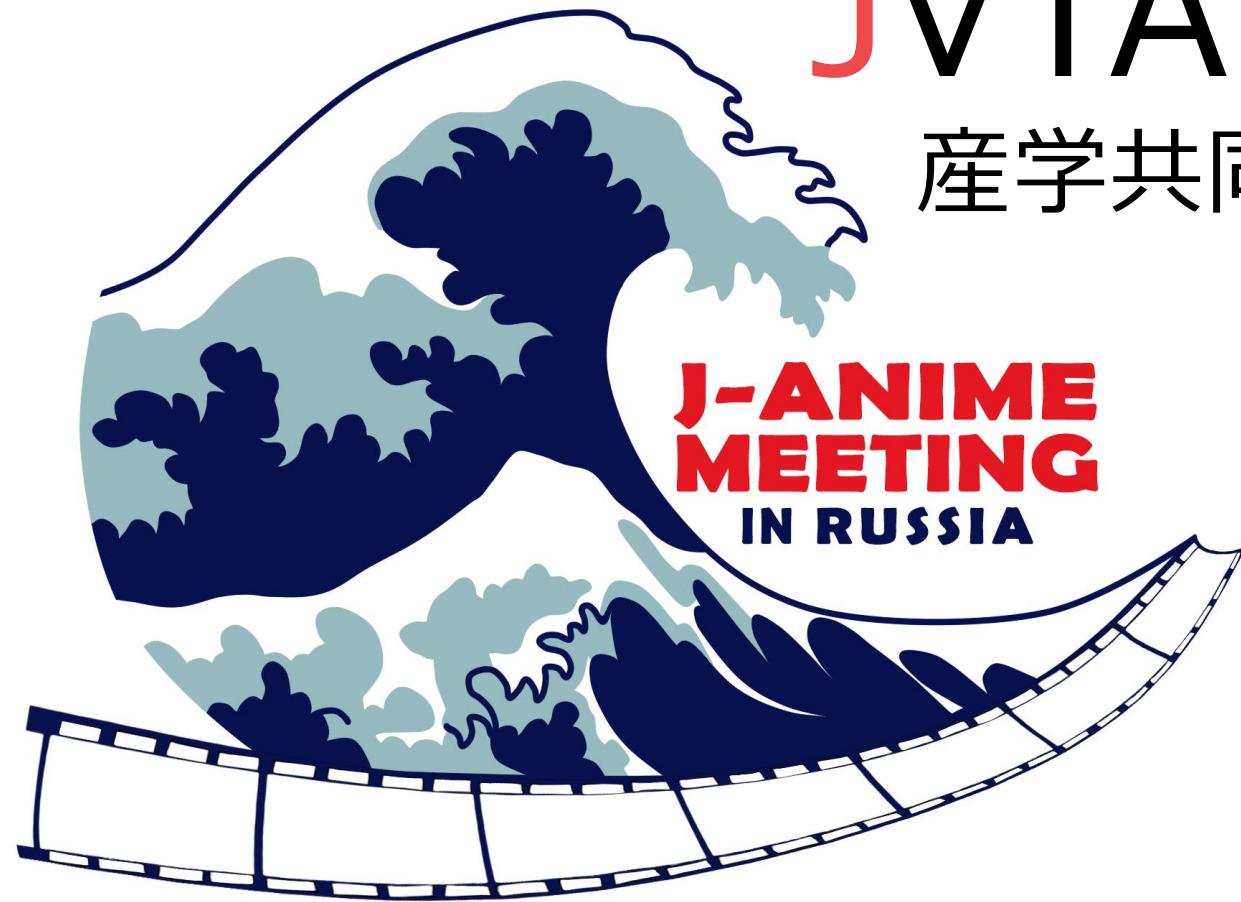


LA Eiga Fest
(ロサンゼルス)

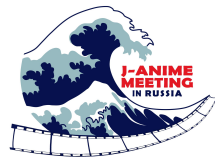
JVTA×TUFS

産学共同プロジェクト

**J-ANIME
MEETING
IN RUSSIA**



Mission- Our Goal



日本のアニメアーカイブに火をつける

エンタテインメントコンテンツとして、文化財として、学習教材としての訴求と価値・評価の向上。日露コンテンツビジネスの活性化。それに伴う就業のチャンスを創出。

高度な日露ビジネス人材の育成

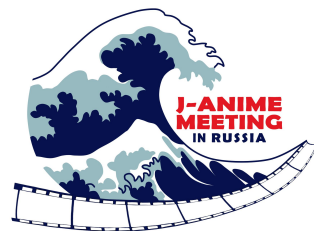
ビジネスにおいて必須となる「Production」、「Promotion」、「Operation」すべてのフェーズのタスクをPBL/フィールドワークとして日露学生が取り組む。語学スキルを活かしながら、異文化理解、メディアリテラシー、マーケティング力などの実践的なスキルを習得。今後日露間の文化・経済交流を担える高度なグローバル人材育成を目指す。

市民レベルの真の文化交流

日露の学生が主体となり開催する、史上初のイベント。企画の発案から準備も進行管理、当日の運営まで手掛けるのは日露の学生。お互いの国の文化や言語に対する純粋な情熱を共有する学生のチームが、共通の目的を目指して力を合わせる。民間レベルでの日露文化外交の新たなフェーズを切り開く。

実施概要

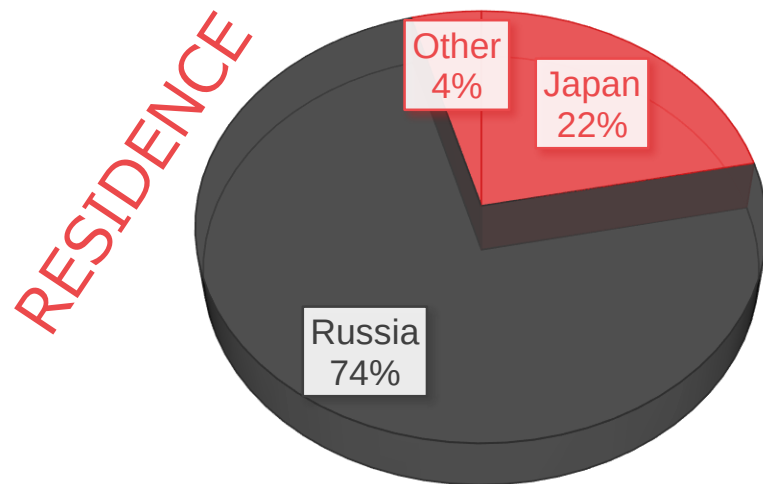
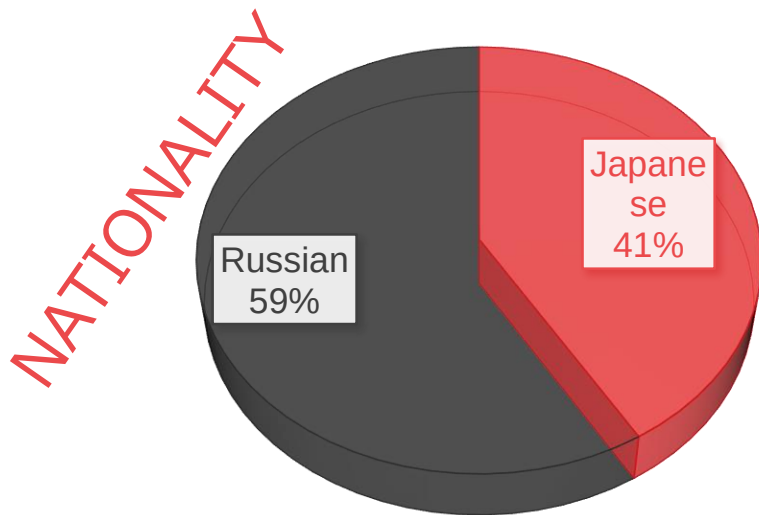
- **名称** J-Anime Meeting in Russia (「日露地域交流年」日本側行事リストに登録予定)
- **事業の目的**
 - ・日本のアニメアーカイブに火をつける
 - ・高度な日露ビジネス人材の育成
 - ・市民レベルの真の文化交流
- **開催日時**
2020年5月23日(土) 10:00~21:30
2020年5月24日(日) 10:00~21:30 ※予定
- **会場** Dom Kino, Moscow (中央映画人同盟会館)
building 1, Vasilyevskaya Ulitsa, 13, Moscow
- **主催** 日本映像翻訳アカデミー株式会社 (JVTA)
- **共催** 東京外国語大学 (TUFS)
- **開催協力** ロシア映画製作者連盟
- **協力** モスクワ市立大学
- **チケット**
上映イベント : 300ルーブル (約500円予定)
ワークショップ : 無料 (予定)



45

現在45名の**インターン**がプロジェクトに参加。

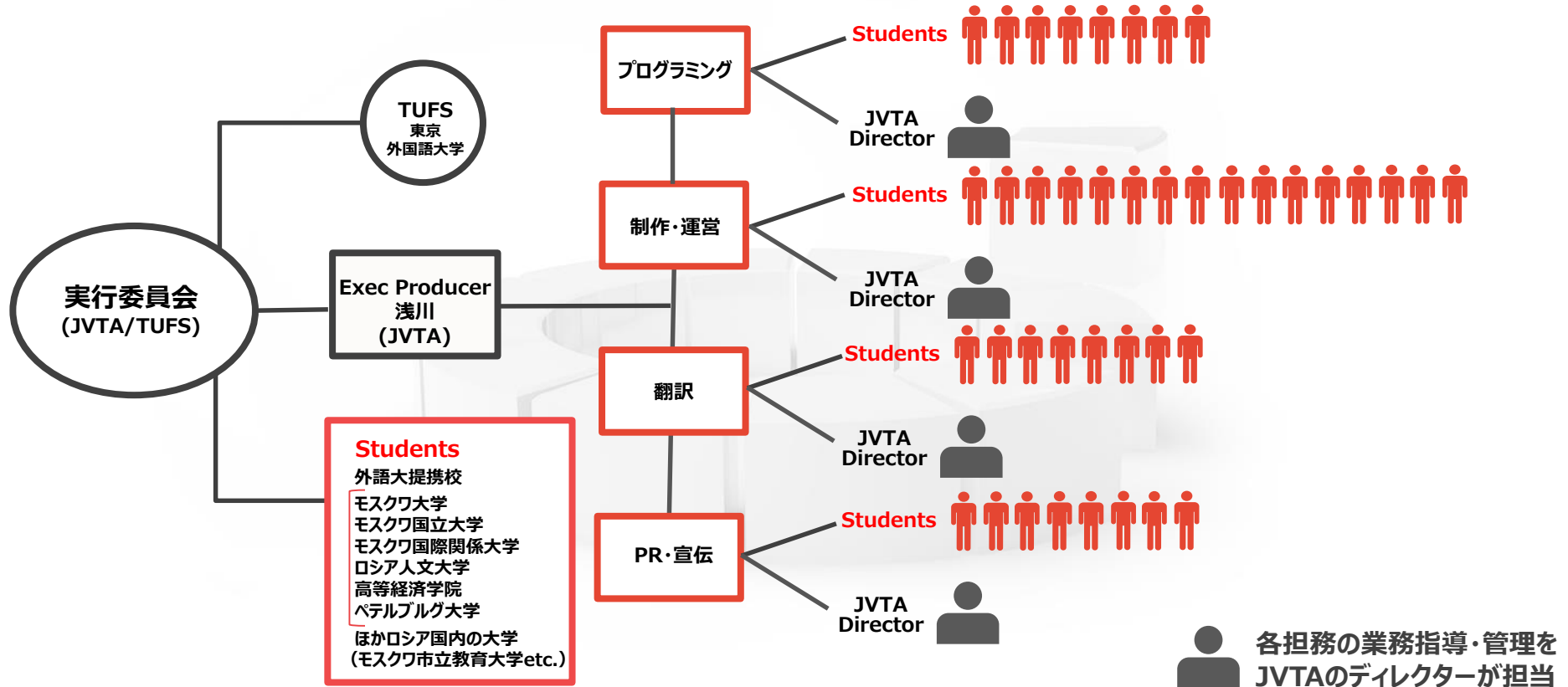
Slack, Skype, BOX などの**ICTを最大限に活用**し、
長期間、大人数、ボーダレスなプロジェクト業務に日々取り組んでいます。



【参加大学】

*Tokyo University of Foreign Studies (TUFS), National Research University Higher School of Economics (HSE), Moscow State Institute of International Relations (MGIMO), Russian State University for the Humanities (RSUH), Saint Petersburg State University (SPBU), Moscow City University (MCU), Sophia University

組織図



学生が取り組む具体的なタスク

プログラミング

ターゲティング、上映作品の選定、権利元のリサーチ、上映権利や上映料の交渉
短編約16作品。長編作品

制作・運営

ロシアでのチケットングシステムの選定、上映スケジュールの編成、舞台演出、会場設営、運営マニュアルの作成

翻訳

上映作品のすべてのロシア語字幕制作
(プロの指導・監修)
制作した字幕の買取依頼窓口

PR・宣伝

イベント開催までのパブリシティ戦略作成、SNSでの情報発信、PRマテリアル制作(チラシ、ポスター、PR動画)
プレスリリースを配信、メディア対応

インターンが身につける ビジネススキル

チャレンジ精神 (変革する力、バイタリティ)

チームワーク力 (共感力、チーム志向)

コミュニケーション力 (論理的思考、伝える力)

リーダーシップ力 (周囲を巻き込む力、主導力)

主体的行動力 (自律的アクティビティ、やりぬく力)

グローバル素養 (異文化受容力、語学力)

時間的・空間的制約を超えたリーダーの育成

ICTの活用により、距離、時差などあらゆる障害を乗り越え、**大人数**、**長期間**のインターンシッププログラムを可能にしている。

The collage features several digital interfaces and a central photograph of a man, likely a leader or participant, with a red trophy icon overlaid on his chest. The tools shown include:

- SLACK**: A mobile app interface showing a chat conversation.
- BOX**: A web interface showing a file management system with folders like 'DriveCloud実行ファイル' and 'マイボックス'.
- GOOGLE SHEETS**: A mobile app interface showing a spreadsheet with data.
- SKYPE**: A web interface showing a video call with three participants.

The central image shows a man with glasses, identified as **CHOUSEI-SAN**, smiling. A red trophy icon is overlaid on his chest, symbolizing achievement or success. The background of the collage is a dark blue gradient with various icons and text elements.

日	時	場所	参加人数	参加状況	参加内容	参加結果
8月1日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月2日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月3日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月4日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月5日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月6日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月7日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月8日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月9日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月10日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月11日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月12日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月13日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月14日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月15日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月16日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月17日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月18日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月19日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月20日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月21日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月22日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月23日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月24日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月25日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月26日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月27日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月28日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月29日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月30日	10:00	オンライン	15	○	△	△
8月31日	10:00	オンライン	15	○	△	△

企業活動の最前線に見出す人材育成と キャリア教育の実現に向けて

企業としての「現場の声」

大学側が担っている人材育成に対する問題提起及び期待

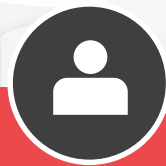
社内での育成事例などのグッド・プラクティス



〇〇〇



〇〇〇



〇〇〇



〇〇〇

ありがとうございました
Thank you!
Спасибо!

Nami Asakawa

asakawa@jvtacademy.com

Japan Visualmedia Translation Academy
Lecturer, Producer, Senior Manager

Nami has her hand in consulting for business planning and global publicity for local corporations, developing PR content and curriculum for domestic and foreign universities as well as many other projects at JVTA. She also helps spread knowledge and awareness of Japanese manga, foreign languages and culture through her work involving several foreign film festivals. Besides lecturing at Meisei University, she also finds time to co-author her first instructional guide "Practical Training Method for Visualmedia Translation".

Japan Visualmedia Translation Academy Co. Ltd.

3-2-4 Kyodou Bldg. 2F/3F 3-2-4
Nihombashi Hongoku-cho Chuo-ku,
Tokyo 103-0021 JAPAN
+81 (0)3 3517 5550

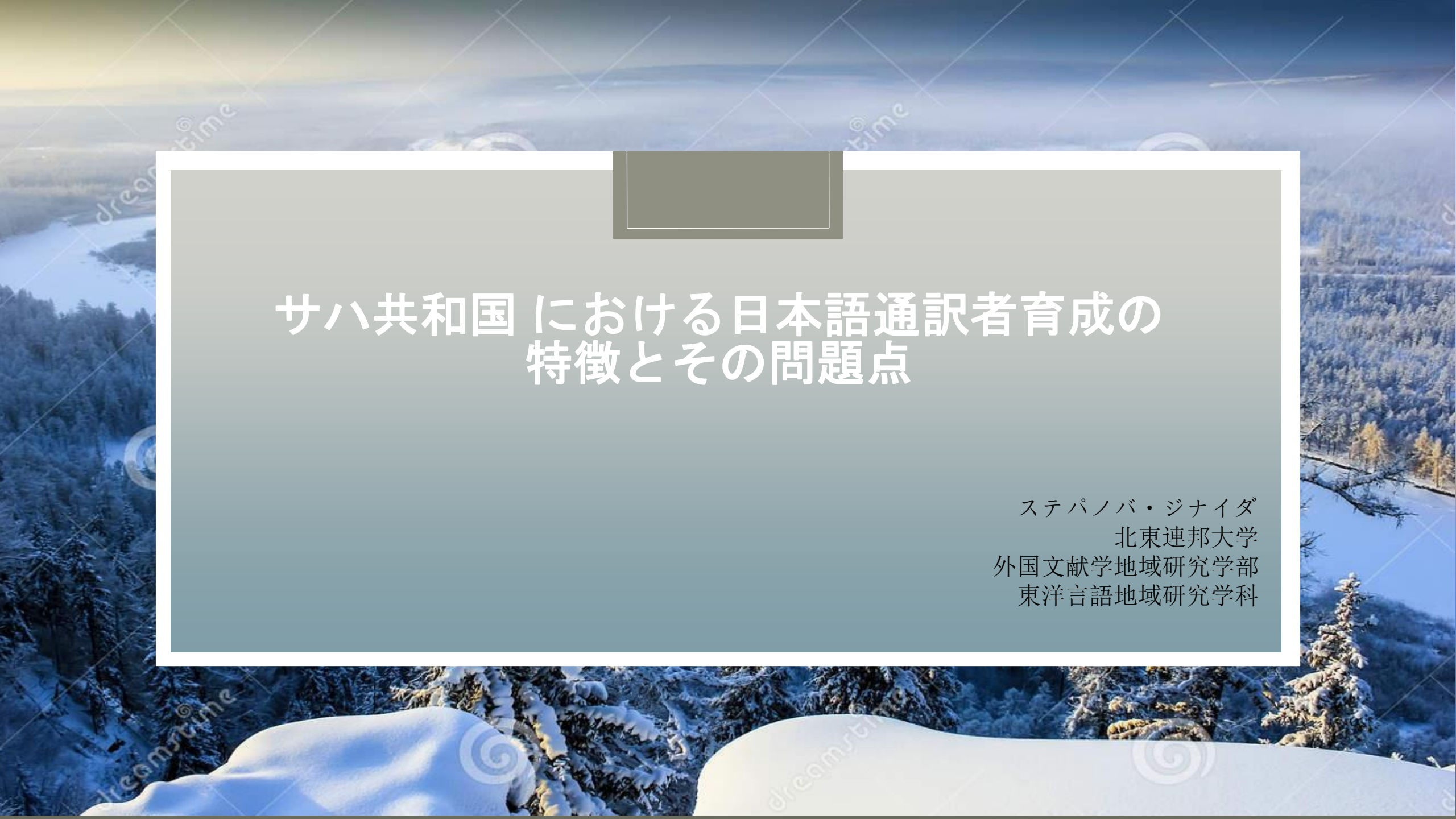
Los Angeles Branch

3510 Torrance Blvd. Suite 219
Torrance CA 90503, USA
+1 (310) 316 3121

Moscow Office

Office 9K, Room 7, Premises 1 PH
21 Poryadkoviv Pereulok, Moscow
127055, Russian Federation





サハ共和国における日本語通訳者育成の 特徴とその問題点

ステパノバ・ジナイダ
北東連邦大学
外国文献学地域研究学部
東洋言語地域研究学科



サハ共和国はシベリ
アの東部の大半を占
め、ロシア連邦の最
大の領土です。

面積は 3 1 0 万平方
メートル



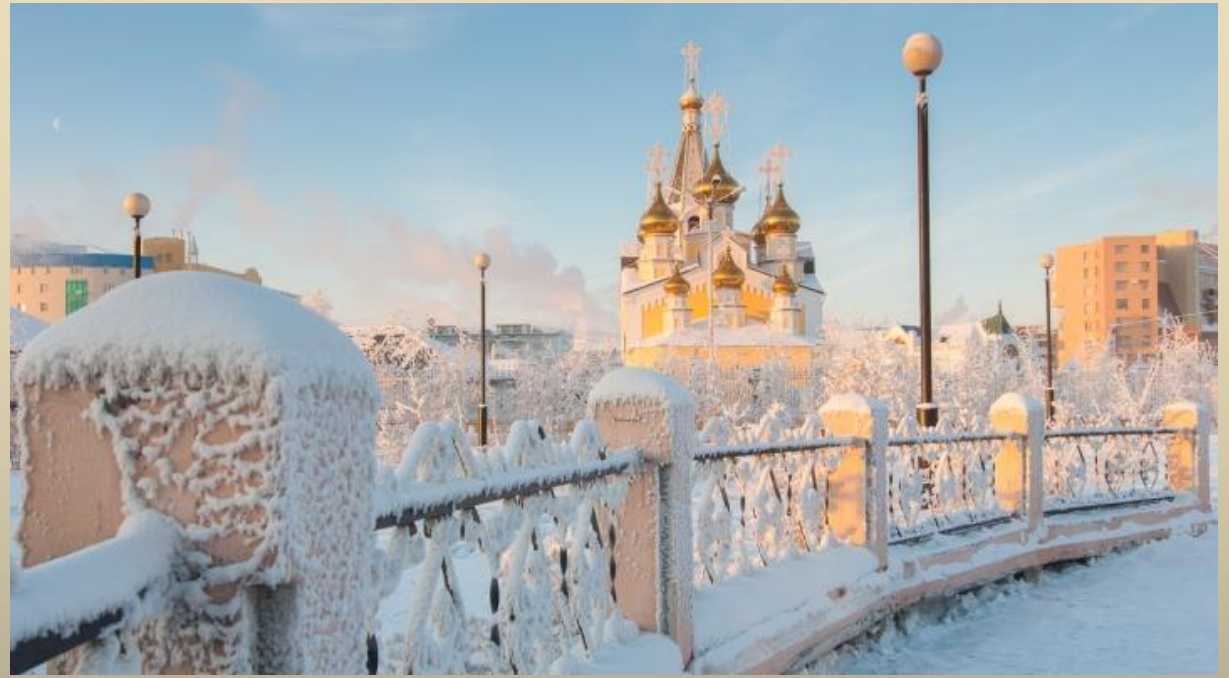


人口は100万人弱です。原住民はヤクート人、エ
ヴェン人、エヴェンキ人、ユカギル人、チュクチ人
である。

首都はヤクーツク市である。



ヤクーツク市は1632年に創立され、シベリアの一番古い市の一つです。ロシアで18世紀中頃2番目の日本語学校がヤクーツクに作られた。



日本語科の主な授業と使われる教科書

年度	授業	単位	主な教科書
1年度	「総合日本語」	14	『みんなの日本語I』 2007年
2年度	「総合日本語」	11	『みんなの日本語II』 1999年
3年度	「総合日本語」	12	『文化初級』 2002年, 『中級から学ぶ日本語』 2014年
	「日本語会話ストラテジー」 または 「日本語会話文化」	4	『日本語生中継：聞いて覚える話し方』 2009
4年度	「総合日本語」	8	『文化中級II』 2004年
	「通訳の理論と実践」	3	Bykova S. A. 『日本語通訳』 1999年
	「社会・政治通訳実践」、または「論文・技術翻訳実践」	4	Razdorskaya N. V. 『社会・政治通訳実践』 2005年 Kutafieva N. V. 『論文・技術文章の特徴』 2006年
	「日本語ビジネス文書の書き方」、または「日本語レポート・論文の書き方」	4	Bykova S. A. 『日本語文書の翻訳』 2003年 『しごとの日本語：メールの書き方編』 2008年 『大学生と留学生のための論文ワークブック』 1997年
	「日本語ビジネス会話の実践」、または「日本語異文化コミュニケーションの実践」	3	『しごとの日本語：電話対応基礎編』 2008年 『ヤクーチャへようこそ』 2018年
	「日本文学の文献学的分析の実践」、または「日本文学の言語学的分析の実践」、	3	『日本文学』 2018年

北東連邦大学の日本語科の学生





Kobe City University of Foreign Studies

神戸市外国語大学

Language connects people

地域コミュニティを基盤とする
日露協働学習をめざして

神戸市外国語大学 准教授 金子百合子

ykaneko@inst.kobe-cufs.ac.jp

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/>





1. TODAY

通訳・翻訳に憧れ・関心を持つ学生は常に一定数いる

問題点

- 翻訳の理論&技術習得は専攻課程カリキュラムの学習内容として位置づけられていない（「書く」「話す」は入っていても）
- 学習者間のロシア語の能力差（高年次B1+B2+C1）
- 授業人数（文法・講読40人、会話・作文20人）
- 教員に専門的知識・ノウハウがない（いろいろな経験はあるが…）
- そもそも学部レベルで通訳・翻訳の職能教育は無理

とはいえ、部分的に授業で

- 専攻作文の授業・特殊講義・ゼミ

大部分は、学習者個人の積極的な学外活動で

- 朝練・通訳／翻訳ボランティア

2. 授業での試み

授業での大学パンフレットづくり

- ・ロシア語専攻Ⅲ年生（40名弱）
- ・前期：表現・語彙学習・情報収集 後期：製作・プレゼン
- ・グループ作業 毎週提出したものを教員が添削して返却

授業での地域紹介・自由テーマプレゼン

- ・ロシア語専攻Ⅲ年生（40名弱）
- ・前期：表現・語彙学習・情報収集 後期：製作・プレゼン
- ・グループ作業 毎週提出したものを教員が添削して返却

ゼミ・研究指導

- ・翻訳学を専門とする教員のゼミは人気
- ・日露翻訳をテーマにするロシアからの留学生が最近増加

3. TOMORROW



Kobe City
University of Foreign Studies

日露産官学協働を学習の枠組みの中に

理念 言葉を通してつなげる

知識と知識

経験と経験

人と人

グローバルとローカル

目的

(1) 中小企業における日露協力の推進

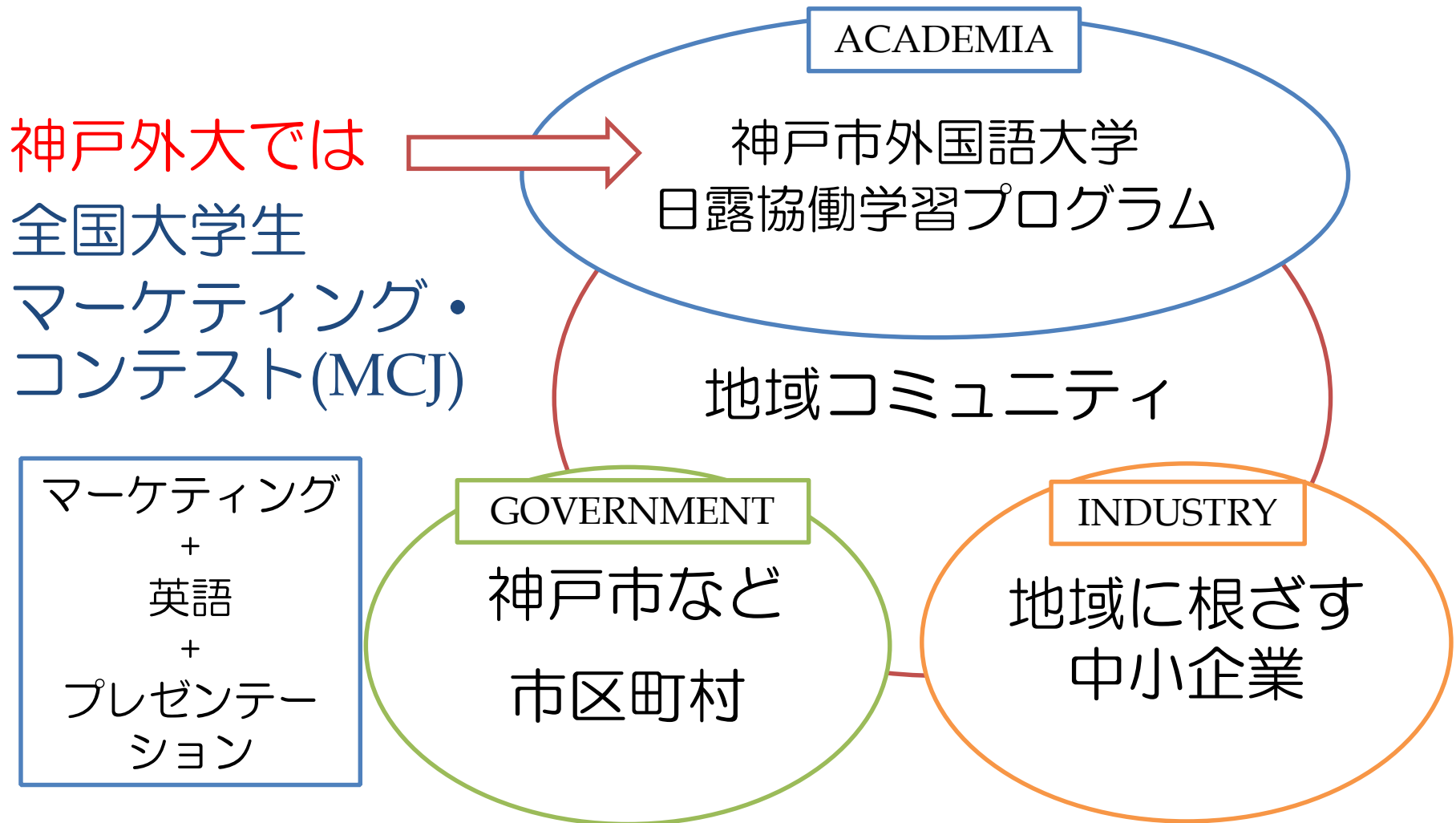
(2) 人に優しい多言語・多文化コミュニティに
おけるメディテーターの養成



地域コミュニティを基盤とする
日露協働学習プログラムを構築したい



(1) 地域に根ざす中小企業における 日露協力の推進力に





(2) 人に優しい多言語・多文化 コミュニティにおけるメディテーターの養成

神戸外大では

「医療通訳・
コーディネーター
入門」



ACADEMIA

神戸市外国語大学
日露協働学習プログラム

神戸市立看護
大学と共同で
開催

地域コミュニティ

GOVERNMENT

神戸市など
市区町村

MEDICAL FIELDS

地域の
医療施設など

Благодарю за внимание!

ご清聴有難うございました

ykaneko@inst.kobe-cufs.ac.jp



- ・創価大学は 1975 年にモスクワ大学と交流協定を結んで本年で 45 周年を迎える。
- ・これまでソ連・ロシアに長期・短期留学で学んだ学生は 500 人以上。
- ・現在、12 のロシアの大学と交流協定を結んでおり、交換留学はこれまで毎年モスクワ大学、極東連邦大学、ロシア民族友好大学と計 9 名の枠で行っており、2020 年度からはバイカル国立大学と、更に 2021 年から北東連邦大学とも交換留学を開始。
- ・昨年 8 月にはサンクトペテルブルグにあるゲルツェン記念ロシア国立教育大学で 2 週間のロシア語研修を 1 年生を中心に行い、16 名が参加。
- ・ロシアにおいては計 12 の大学と交流協定を締結。
- ・卒業生でロシア語通訳は 20 人以上。
- ・創立者杯ロシア語スピーチコンテストを毎年開催。
- ・ロシア語・ロシア文化普及を目的として大統領令によって設立されたルースキー・ミール基金の支援の下、ロシアセンターが 2016 年から活動。
- ・ロシアセンターで昨年 6 月、プーシキン生誕 220 周年記念イベント「プーシキンの世界」を開催
- ・ロシアから教員を招聘。英語とロシア語で講義。

モスクワ国立大学の心理学教育 における専門通訳技能の取得

ラエフスキー アレクサンドル
モスクワ国立大学心理学部、准教授



モスクワ大学
心理学部
1966年 創立

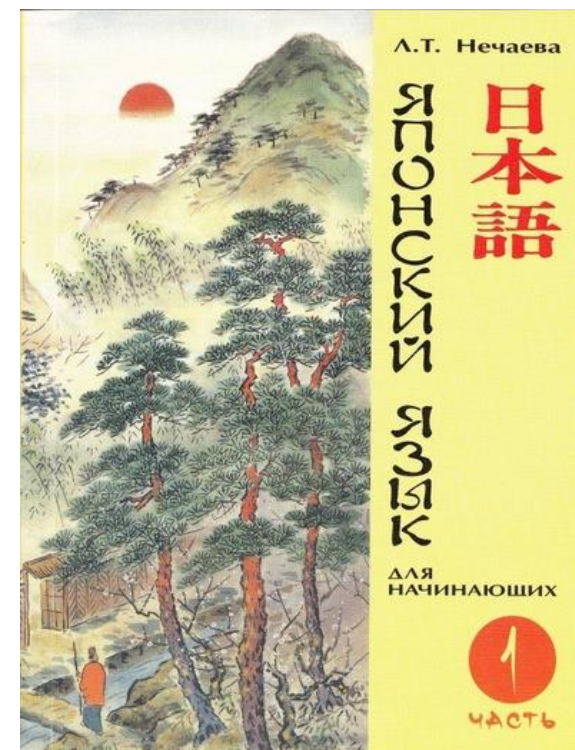


ジンチェンコ学部長



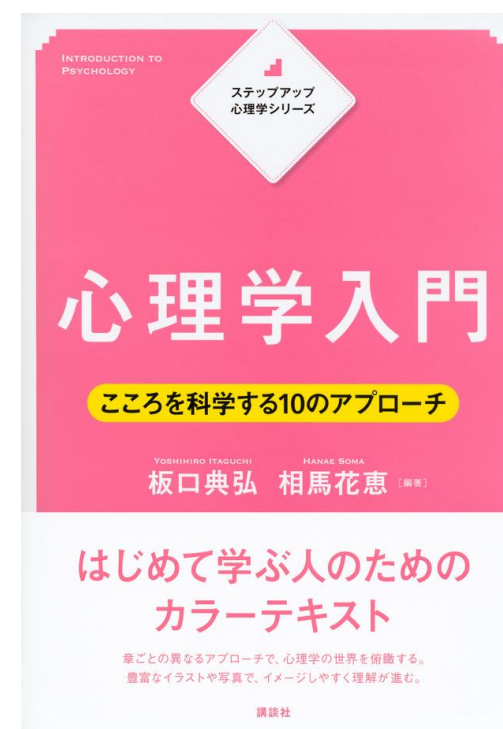
心理学部で日本語教育？

- 2008年から日本語教育が行われてきた。毎年、日本語を学ぶ学生の人数が増えており、現在40名以上が日本語を学習している。
- 日本大学と共同で「日本クラブ」、日露会議、ラウンドテーブルなどのイベントが定期的に行われている。
- 学生は短期留学プログラム、長期留学プログラムに参加し、異文化比較の研究を日本で行っている。



日本の教科書

ロシアの教科書



心理学のテキスト

心理学部生はどうやって日本語をマスターする？

心理学部で日本語の勉強



日本で短期留学（14日間）



日本で長期留学（1年間）



日本語レベルアップ！

ロシアの学生にとって特に難しい 日本語の特徴

- 漢語
- 数詞
- 敬語
- 漢字



日本語専門でない学部における 日本語教育

短所：

- 日本語の授業時間数が少ない
- 他の授業もあり忙しい
- 専門的な教科書がない

長所：

- 心理学の知識だけでなく、日本語も使えるようになる
- 日本との交流が深まる
- 研究のレベルが上がる

1 2 年間の日本語教育の結果



学部間協定：6校



日露会議：15回以上



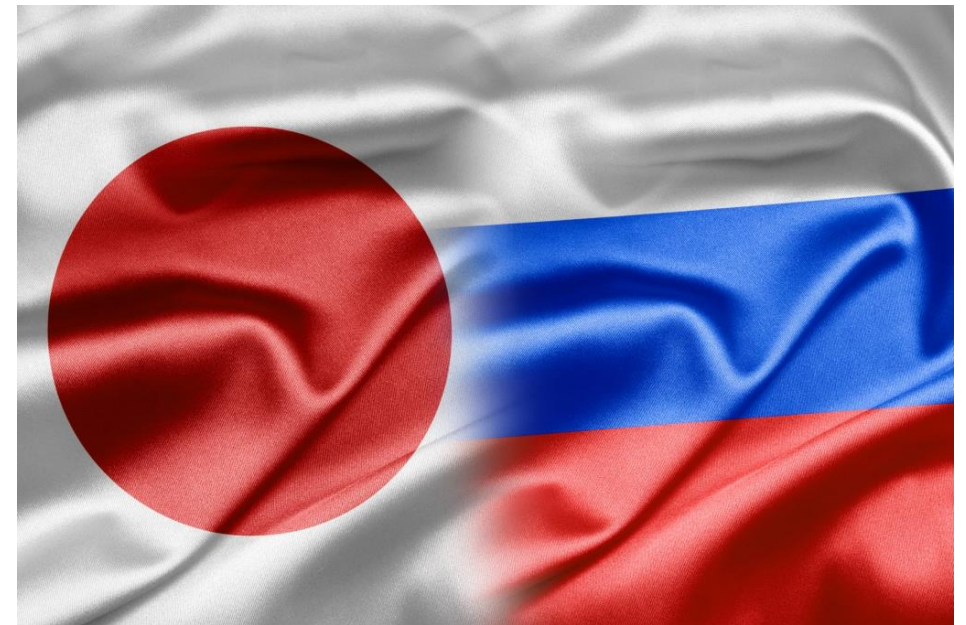
短期留学に行った学生：30名以上



長期留学に行った学生：9名

今後の目標

- 日英露心理学辞典の作成
- 日本の心理学者との共同研究
- 北海道大学文学部心理学研究室との協定



ご静聴ありがとうございます！

日露経済協力に資する日本語とロシア語の通訳・翻訳専門家育成及び産学官連携

大阪大学のロシア語教育の実状



藤原克美
(大阪大学)

大阪大学の実状

- 大阪大学外国語学部ロシア語専攻
1学年 25名

専任教員 日本人4名＋ロシア人1名
非常勤講師、豊中スタッフ2名の協力

- 提携大学

大学間 サンクトペテルブルク大学

部局間 モスクワ言語大学、ウラル連邦大学
ノボシビルスク大学、モスクワ大学
民族友好大学

大阪大学の実状

- 学生の留学
- 2年生 モスクワ大学夏季研修(1か月)
- 教科書に準拠した内容の授業を依頼
- 事前の課題決定→夏季研修
- →ロシア語によるプレゼンテーション
- ※2年次教育の一環として単位認定
- 3,4年生 協定校留学(基本は10か月)
- 私費留学 ロシア、ベラルーシ等
- 同窓会奨学金 全て単位認定

大阪大学の実状

- これまでの取り組み
- 1,2年生
 - TRKIの実施(PUDHよりテスター招へい)
 - ←進級要件
 - 夏季研修とプレゼンの必須化
 - ←アカデミックライティング指導、卒論
執筆準備



大阪大学の実状

- これまでの取り組み

3,4年生

実習（ロシア語）の強化 1セメ10科目を用意

ロシア語通訳協会会員の授業も

かつては同時通訳、司法通訳専門家も

講義・ゼミでの専門分野の学習

各ゼミでの取り組み（他大学との合同ゼミ等）

卒論発表会（全員参加でレベル向上をめざす）

ロシア語能力検定試験の推奨

大阪大学の実状

- 課題
 - 学生のモチベーション維持
 - 機会、情報の少なさ
 - 学生のレベルの格差
 - インターンシップ需要
- etc.

👉 語学力の向上と研究力の向上を同時に追求

大阪大学の実状

- 近年の取り組み

ロシア語能力検定試験の拡大

2020年 ТРКИ-3、2019年 ТРКИ-2 合
格

キャリアセミナーの開催

2019年 外務省OBの講演

プレゼンテーション、学習発表の強化

etc.

2020 年 2 月 21 日

札幌大学のロシア語教育について

岩本和久（札幌大学） 宮川絹代（札幌大学女子短期大学部）

1. 札幌大学のロシア語専攻

- ・1967 年の開学時に設置された「ロシア語学科」を前身とする
- ・東北以北の大学ではまれな、ロシア語を専攻する課程
- ・主な就職先は海上保安庁、北海道警察、根室市役所、ANA、G.I.プラン、FEC コーポレーション、オーロラ航空、ユニオンスター、大陸貿易、横浜通商株式会社、バルテック・トレードなど

2. 教育の特徴

- ・少人数（10 人以下）で展開される授業
- ・アクティブ・プログラムと課外活動

3. アクティブ・プログラムと課外活動

交換留学	・北東連邦大学と協定 ・モスクワ国立大学、サハリン国立大学と三大学連携協定 ・各大学に 1～3 名の学生が半年～1 年の語学留学
モスクワ研修	・モスクワ大学での 3 週間の語学研修 ・週末は見学旅行（モスクワ、黄金の環、ペテルブルグ）
弁論大会	・ユーラシア協会北海道連合会の「全道ロシア語弁論大会」に参加



ロシア詩の集い	・ロシア詩の朗読コンクールやロシア語劇を開催 ・コンクールには学外からの参加も	
ヨールカ祭	・2019 年で 36 回目となる専攻の伝統行事 ・学生によるロシア語劇を上演 ・ロシア料理（ボルシチ）作り	
ロシア語合宿	・学内のセミナーハウスでの合宿 ・ロシア語会話のレッスン	
北方四島交流	・北方四島交流受入事業使節団との交流（学生が参加） ・北方四島交流訪問事業への学生の参加	
高大連携	・札幌丘珠高校の国際文化フィールドへ教員や学生を派遣	